

令和8年度 Sakai Next Impact Catapult 2026
(社会的インパクト創出につながるアクセラレーション業務)

募 集 要 項

内容

1. 事業の趣旨	2
2. 本プログラム参加のメリット	2
3. 応募対象・応募資格.....	2
4. 応募期間及び採択通知予定	3
5. 採択予定数・参加費.....	3
6. 応募方法.....	4
7. 実施スケジュール	4
8. アクセラレーションプログラムの内容.....	4
9. 参加者への期待	6
10. 選定基準	6
11. よくあるご質問.....	7
12. 個人情報および提出資料の取扱い	8
13. お問い合わせ先.....	8

1. 事業の趣旨

堺市は、中百舌鳥エリアをイノベーション創出拠点と位置づけ、「堺市基本計画 2030」の KPI である「イノベーション創出につながる事業数 130 件」の達成に向けて、地域課題の解決や社会に新たな価値を創出する取組に意欲があり、経済的な成長をめざす事業者の育成に取り組んでいます。

社会課題の解決を掲げる事業は、その意義が理解されやすい一方で、「誰から対価を得るのか」「規模を拡大したときに採算が合うのか」という問いに答えきれず、活動の継続そのものが難しくなるケースが少なくありません。また、収益の確保を優先するあまり、本来解決したかった社会課題への貢献が見えにくくなる場合もあります。

本アクセラレーションプログラムは、そうした課題を抱えるインパクト志向の起業家・スタートアップ等を対象としています。事業が生み出すインパクトと収益がどのように連動するのかを整理し、両者のトレードオン、つまり 2 つを同時に高めるビジネスモデルの構築を目指します。そして、そのビジネスモデルを事業計画に落とし込み、今後の成長を支える人的ネットワークの拡大を支援します。

(※) 本プログラムでは、社会や環境への望ましい変化を「インパクト」と捉えています。

2. 本プログラム参加のメリット

(1) ビジネスモデルが具体化・明確化される

「インパクトと収益のトレードオン」をテーマにした集合研修とメンターとの個別の壁打ちを通じて、解決を目指す社会課題の解像度を高め、受益者と市場のニーズを把握し、いかに収益へと繋げるか、事業モデルの具体化を図ります。

(2) 「使える」事業計画書を作成できる

ブラッシュアップしたビジネスモデルを、今後の資金調達や各種支援の獲得、広報、社内外へのアピール等に活用することを前提とした事業計画書に落とし込みます。

(3) 人的ネットワークを広げられる

プログラム期間中、メンタリングや成果報告会などの場面を通じ、投資家（VC・インパクト投資家）、地域金融機関、堺市の課題所管部署、NPO・当事者団体、先輩起業家など、多様なステークホルダーとの接点を得るだけでなく、自らのビジネスモデルや事業計画へのフィードバックを獲得できます。

3. 応募対象・応募資格

応募対象

法人、個人事業主、個人（開業前でも可）※

※対象とする社会課題の分野や実施フェーズは問いません。すでに事業を実施している方に限らず、具体的な事業計画をお持ちであれば創業前の方も対象となります。

応募資格

次に掲げる条件をすべて満たす方を対象とします。

- ① 社会課題解決型事業の創出に意欲を有していること
- ② 社会課題の解決につながる具体的な事業計画を有していること（事業の実施フェーズは問いません）
- ③ 事業の実施にあたり、営業利益の創出その他、継続的な事業運営に課題を有していること
- ④ 原則として全プログラムに参加でき、必要な作業を積極的に実施できること（プログラムには、堺市内の拠点で対面にて実施されるものが含まれます）
- ⑤ 法令や公序良俗に違反していないこと
- ⑥ 反社会的勢力と繋がりがなく、また、その恐れがないこと
- ⑦ 応募に際して虚偽の情報を記載し、主催及び運営受託者に対して虚偽の申告をしていないこと

※堺市内に拠点を有していることは応募の要件ではありません。市外の方も応募いただけます。

※業種・企業規模は問いません。

※過年度に堺市の類似プログラムに参加された方の応募も妨げません。

4. 応募期間及び採択通知予定

応募期間

2026 年 8 月 21 日（金）～2026 年 9 月 14 日（月）17:00

※応募者多数の場合は、応募期間内でも応募を締め切ることがあります。

採択通知（予定）

2026 年 9 月末頃

5. 採択予定数・参加費

採択予定数：5 者程度

参加費：無料

※会場までの交通費、事業計画の検討に伴う実費等は自己負担となります。

6. 応募方法

応募フォームに必要事項をご記入のうえ、以下のメールアドレスへご送付ください（9/14(月)17:00まで）。応募内容を基に書類審査を行い、参加者を決定します。応募フォームは、下記の募集ページよりダウンロードいただけます。

募集ページ：<https://www.city.sakai.lg.jp/sangyo/shienyuushi/sogyo/innovation/mirai-proj.html>

提出先：sakai-startup@glinimpact.com

※応募フォームには、事業計画書や会社案内等の資料を添付いただけます。フォームの記載内容を既存の資料で説明できる場合は、資料名と該当箇所をご記載いただくことで記入を省略いただけます。

7. 実施スケジュール

募集期間	2026年8月21日（金）～9月14日（月）17:00
プログラム実施	2026年10月～2027年2月 集合研修 #1：10月上旬 集合研修 #2：11月中旬 集合研修 #3：12月中旬 ※メンタリングをこの期間内に2回ほど実施
成果発表会	2027年2月頃

※集合研修およびメンタリングの詳細な日程や実施方法については、採択後に調整のうえご案内します。

8. アクセラレーションプログラムの内容

本プログラムは、1. 集合研修（講義及び演習）、2. 個別メンタリング、3. 成果発表会で構成されます。また、各参加者に対し事務局より1名支援担当者がつき、研修や壁打ちの合間に個別面談を行い、事業計画づくりを継続的にサポートします。プログラム終了時には、社会課題の解決と収益の両立を描いた事業計画が完成している状態を目指します。なお、内容は参加者の事業内容や成長段階に応じて調整します。

※会場は、さかい新事業創造センター（S-Cube／堺市北区長曾根町130-42）を予定しています。

1. 集合研修（講義及び演習）（全3回）

各回を通じて、最終的なアウトプットである⑥事業計画書のパーツを組み立てていくように設計されています。

テーマ（予定）	内容（予定）
---------	--------

#1 創出インパクトを クリアに描く	投資家から評価される事業計画に必要な要素を解説します。社会課題・受益者のニーズと、それに対する解決策（サービス・プロダクト）を整理することで、創出するインパクトを明確にする演習を行います。 アウトプット：①セオリー・オブ・チェンジ ^{*1}
#2 インパクトと 収益を接続する	社会課題の解決と収益の創出を一体のものとして整理する演習を行います。顧客像・市場規模・商流等を具体化します。 アウトプット：②インパクト・バリュー・プロポジション ^{*2} ③リーンキャンパス ^{*3} ④商流図
#3 事業計画の 実現可能性と具体性を 高める	投資家・金融機関の目線を踏まえ、事業の実現可能性と成長への期待を高める方法を学び、事業計画を仕上げます。 アウトプット：⑤財務・インパクト KPI ⑥事業計画書

*1 「セオリー・オブ・チェンジ」とは、事業活動がどのように社会課題の解決を通じて目指す社会の実現に貢献するか、という因果関係を描き表す一枚絵。課題と解決手段（事業）の一貫性を検証し、「創出したいインパクトに対し、現状のプロダクトやビジネスモデルが最適解なのか」を検討するのに役立つ。

*2 「インパクト・バリュー・プロポジション」とは、インパクト創出と収益創出を表裏一体として扱い、共通の問いを通じて具体化するフレームワークで、両者の整合や齟齬を明らかにし、ビジネスモデルの具体性やインパクト志向性を高めるのに役立つ。

*3 「リーンキャンパス」とは、不確実性の高いスタートアップや新規事業のビジネスモデルを、用紙1枚程度にまとめて可視化・検証するためのフレームワーク。事業計画を固める前に確認すべきビジネスモデルの要素を網羅的にチェックするのに役立つ。

2. 個別メンタリング（全2回）

参加者ごとに、事業内容や解決したい社会課題に応じたメンターをマッチングし、壁打ちの機会を設けます。第1回は社会課題と受益者への理解を深めること、第2回は事業計画と収益モデルを磨き上げることを目的としています。

メンターの例)

- インパクト投資家・ベンチャーキャピタル
- 地域金融機関
- 堺市の課題所管部署
- NPO・NGO・当事者団体
- 大学・研究機関
- 先輩インパクトスタートアップの経営者

※マッチングするメンターは、参加者の事業内容や解決したい社会課題に応じて個別に調整します。

3. 成果発表会

プログラムの締めくくりとして、投資家・金融機関、課題解決型事業を行う企業、スタートアップ等を招いた成果発表会を開催します。各参加者は、事業計画書に基づき発表を行い、その場でフィードバックを受けることができます。発表後には、交流の時間を設け、資金調達や協業など、次の一歩

につながる場としてご活用いただけます。

9. 参加者への期待

採択された方には、主に以下のご協力をお願いします。プログラム期間中に必要となる時間の目安としてご確認ください。

- 集合研修（全3回、各2～3時間）への参加（堺市内での対面実施を予定）
- 有識者との壁打ち（全2回、各1～2時間程度）への参加
- 支援担当者との個別面談（1回15～30分程度、期間中3～4回程度を想定）への参加
- 集合研修各回の合間での検討・作業
- 成果発表会での発表および参加（1者あたりの発表は5-10分程度、全体で2-3時間程度を想定）
- 事業計画の検討に必要な情報・資料のご提供

※参加が難しい日程が想定される場合は、応募フォームの補足欄にご記載ください。その事情のみをもって不採択とすることはありません。

10. 選定基準

以下の4つの観点から総合的に評価し、採択者を決定します。

観点	評価分類	評価のポイント
(1) 課題理解と解決アプローチ	社会課題への理解度	事業を通じて解決したい社会課題が明確か。また、その社会課題の要因・背景、受益者のニーズ、従来のビジネスモデルの課題等について、理解を深めているか。
	自身のビジネスモデルの強み	社会課題に対する既存のビジネスが抱える課題と、自社の強みについて理解しているか。
	事業成長と社会的価値の連動	事業を通じた社会的価値が具体的に示されているか。また、事業が成長すると、社会的価値のアウトカムも拡大するビジネスモデルになっているか。
(2) 事業計画の明確さ・成長意欲	製品・サービス及び商流の具体性	製品・サービス及びその提供の流れの概要をクリアに説明することができるか。
	成長意欲	市場拡大や事業成長に挑戦する意欲があるか。
(3) 堺市のエコシステムへの貢献	継続的な貢献の意思	本プログラム終了後も継続して堺市のイノベーション創出に貢献する意思があるか。
(4) 支援の必要性	事業課題と本プログラムの整合性	事業運営上の課題を明確に理解しており、本プログラムが提供する支援内容によってブレイクスルーが期待できるか。
	ネットワークの必要性	本プログラムで得られるネットワークを必要としているか。

※本プログラムは、課題を抱える事業者が支援を通じて前進することを目的としているため、現時点で事業計画が完成している必要はありません。

11. よくあるご質問

Q. 「インパクト」とは何ですか。

A. 本プログラムでは、社会や環境への望ましい変化を「インパクト」と捉えています。例えば、移動に困っている人の外出機会が増える、食品廃棄が減る、子育て世帯の孤立が緩和されるといった変化が考えられます。本プログラムでは、こうしたインパクトと、売上・利益などの事業成長が連動するビジネスモデルづくりを支援します。

Q. 堺市内に拠点がないと応募できませんか。

A. 堺市内に拠点があることは応募の要件ではありません。市外の方もご応募いただけます。ただし本事業は中百舌鳥エリアからのイノベーション創出を目的としているため、本プログラムへの参加を通じて、将来的な市内への拠点立地や市内プレイヤーとの連携につながることを期待しています。

Q. まだ創業していませんが応募できますか。

A. 応募いただけます。事業の実施フェーズに制限は設けておらず、社会課題の解決につながる具体的な事業計画をお持ちであれば、創業前の方も対象です。

Q. 法人でなくても応募できますか。

A. 法人のほか、個人事業主、個人（開業前を含む）の方もご応募いただけます。

Q. 解決したい社会課題の分野に指定はありますか。

A. 特に優先する課題分野は設けていません。堺市が直面する地域課題に限らず、広く社会課題の解決につながる取組を対象としています。

Q. 精緻な事業計画書がなくても応募できますか。

A. 応募の時点で精緻な事業計画書は必要ありません。本プログラムは、事業計画を磨き上げることで自体を支援するものです。現時点でお考えの内容を、分かる範囲でご記載ください。

Q. 収支が赤字ですが応募できますか。

A. 応募いただけます。本プログラムは、営業利益の創出その他、継続的な事業運営に課題を有する方を対象としています。課題があることは不利にはなりません。

Q. 過去に堺市の支援プログラムに参加したことがあります、応募できますか。

A. 応募を妨げるものではありません。応募内容をもとに、他の応募者と同様に選考します。

Q. どうしても参加できない日程がある場合はどうすればよいですか。

A. 原則として全プログラムへのご参加をお願いしていますが、やむを得ない事情がある場合は応募フォームの補足欄にご記載ください。事務局にて調整の可否を検討します。

12. 個人情報および提出資料の取扱い

ご提出いただいた情報および資料は、本プログラムの選考および運営の目的にのみ使用し、堺市および運営事務局（GLIN Impact Consulting 株式会社）が適切に管理します。個人情報の取扱いについては、個人情報の保護に関する法律その他関係法令を遵守します。

なお、採択された方については、事業者名・事業概要等を堺市および事務局の広報において公表させていただく場合があります。公表内容は事前にご確認いただきます。

13. お問い合わせ先

本プログラムに関するお問い合わせは、下記事務局までご連絡ください。

堺市 社会的インパクト創出につながるアクセラレーションプログラム 事務局

GLIN Impact Consulting 株式会社

メールアドレス：sakai-startup@glinimpact.com

※本プログラムは、堺市の事業として実施するものです。堺市より委託を受け、GLIN Impact Consulting 株式会社が運営しています。